

SOKEN SANGYO

切梁・腹起用点検安全通路

切梁ブラケット・腹起ブラケット・伸縮手摺柱

巾木クランプ・巾木ジョイント金具・単管ジョイントサヤ管



手摺にラージテッスル1-A型を使用



巾木クランプ

巾木ジョイント金具



(100^L×150^H×51^W)



単管ジョイントサヤ管 (φ60.5×200^L)



綜建産業株式会社

<http://www.soken-sangyo.co.jp>

東京 東京都台東区雷門1-16-4
TEL (03) 3845-2497 FAX (03) 3842-5834
E-mail:tokyo@soken-sangyo.co.jp

前橋 群馬県前橋市清野町160-3
TEL (027) 252-6644 FAX (027) 251-7665
E-mail:honsya@soken-sangyo.co.jp

大阪 大阪府大阪市北区豊崎3-4-14
TEL (06) 6372-8440 FAX (06) 6372-8153
E-mail:osaka@soken-sangyo.co.jp

切梁ブラケット

仕様

- H鋼適応サイズ250,300,350,400m/m
- 自重 5kg ● 板厚 24m/mまで
- 許容荷重 200kg
- 【注意】 ● 各ブラケットの設置スパン長は、2メートル以内とする。
- 手摺高さを充分に取り、安全を確保して下さい。

取付方法

1. H鋼のサイズに合わせ、トグルピンにて固定する。(図1)
 - ・基本スパンは 1800m/mピッチ
2. ブラケット先端のパイプ (φ42.7) に単管もしくは伸縮手摺柱を差し込み、M10ボルト・ナットにて固定する。(図2)
3. 単管とクランプにて横手摺を組み立てる。(図2)
4. 床レベルを調整したい場合は、かさ上金具にて高さ調整。(図2)
5. **足場板**を3枚敷き番線にてブラケットまたはかさ上金具に固定する。
6. 巾木クランプにて巾木(足場板)を固定し完了。



図1 足場板(W240)

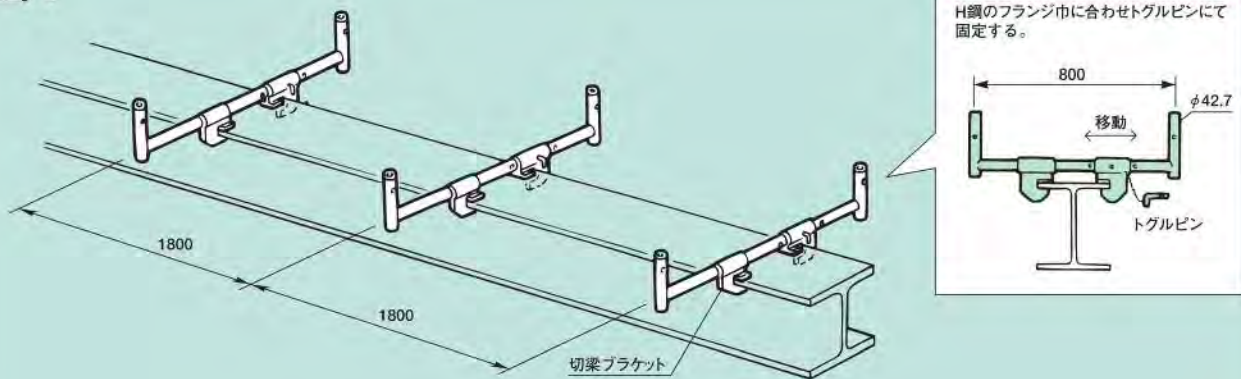


図2

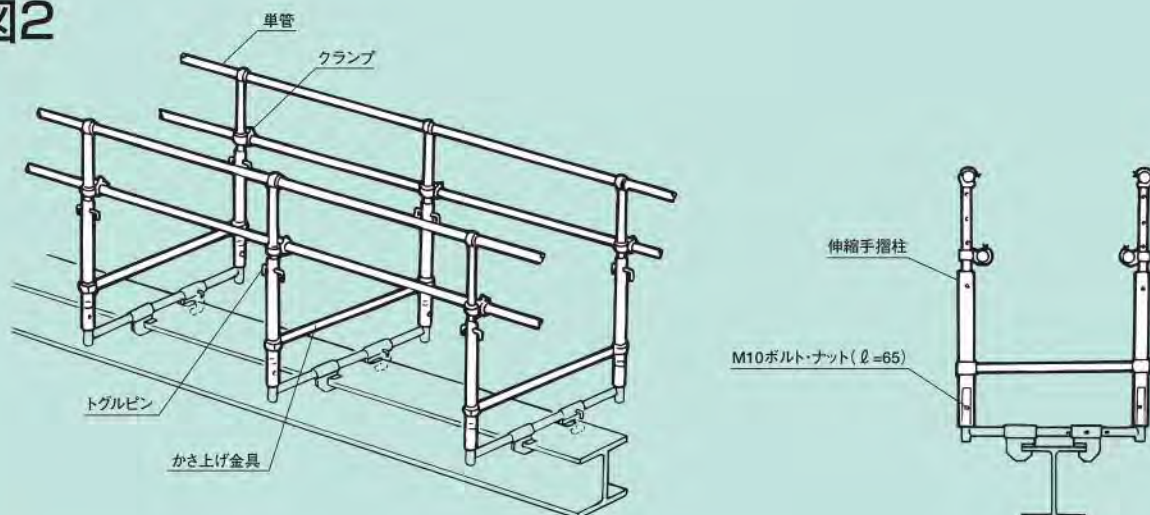
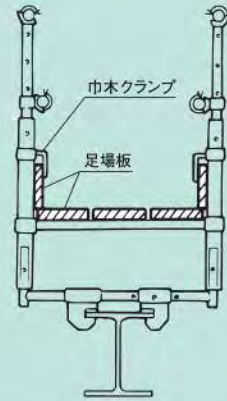
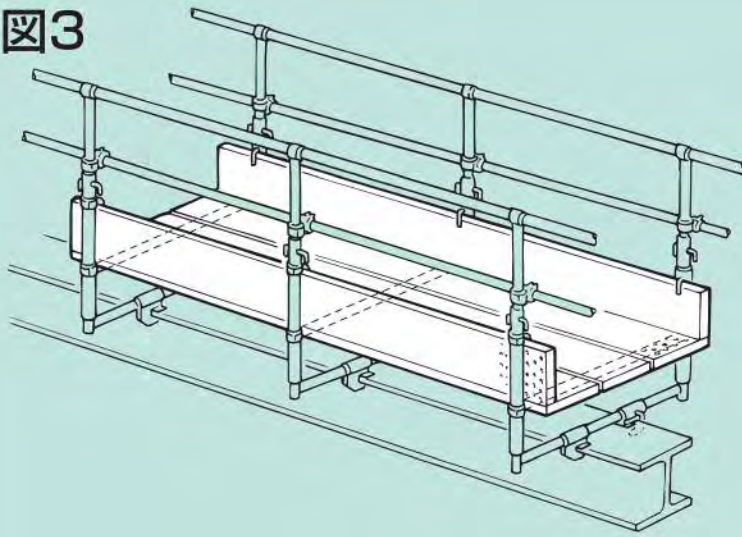
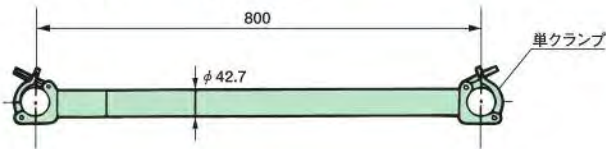


図3

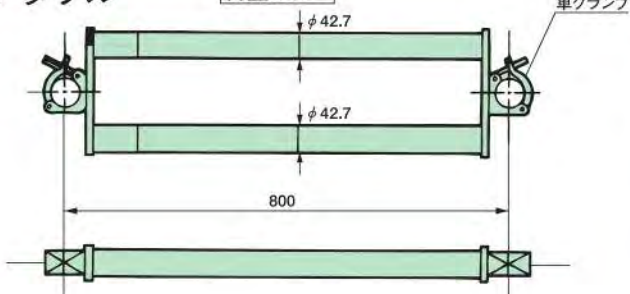


かさ上金具

- シングル 自重 2.5KG



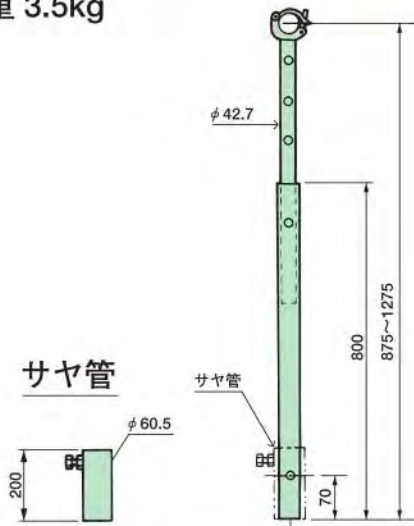
- ダブル 自重 5.5KG



伸縮手摺柱

仕 様

- 自重 3.5kg



腹起ブラケット

仕 様

- H鋼適応サイズ250,300,350,400m/m
板厚24m/mまで
- 自重 5kg
- 許容荷重 200kg

取 付 方 法

1. 本体ボルト締め付けにより、H鋼に固定する。
・基本スパンは1800m/mピッチ (図1)
2. ブラケット先端のサヤ管 (φ60.5) に単管もしくは伸縮手摺柱を差し込み、サヤ管ボルト (M10) にて固定する。 (図2)
3. 単管とクランプにて横手摺を組み立てる。 (図2)
4. 足場板を3枚敷き、番線にてブラケットに固定する。 (図3)
5. 巾木クランプにて巾木(足場板)を固定し完了。 (図3)



足場板(W240)

図1

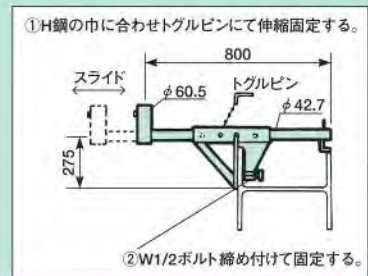
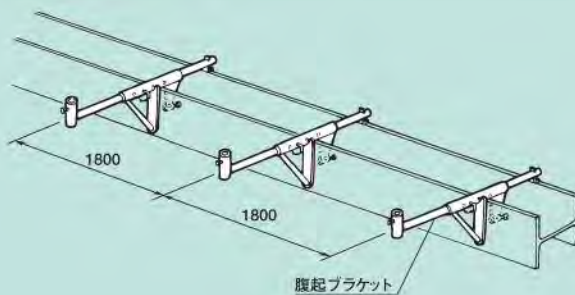


図2

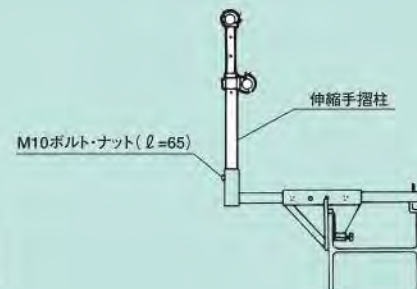
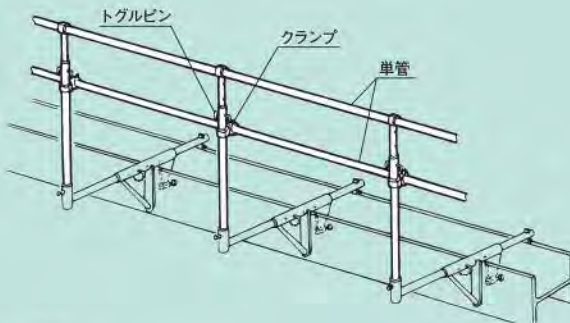
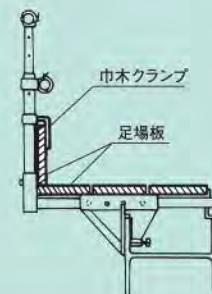
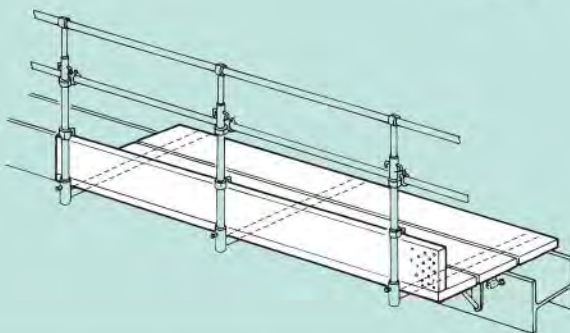


図3



【関係法令】 労働安全衛生規則 第10章 第1節 第540条 第542条 第544条 第552条
 仮設工業会発行「墜落防護工安全基準の解説」